

ばんえい競馬の運営体制の強化について

【一社設立の背景】

現在のばんえい競馬は、「専門性の継承」や「人員の充足」といった課題を抱えながら運営している状況にあり、昨年度より、地方競馬全国協会(以下「地全協」という。)の協力を得て、運営体制強化の検討に取り組んできました。

これまでの検討を踏まえ、運営体制強化には、競走実施事務を担う一般社団法人(以下「一社」という。)を新たに設立し、当該事務を委託することが最善の方法であるとの考えのもと、令和7年度から新たな運営体制によるばんえい競馬の開催に向けて、必要な手続きについて取り組みを進めているものです。

【一社の概要】

名称	(仮称)一般社団法人ばんえい十勝													社員・役員	社員(4人) <table border="1"> <tr> <td>社員</td> <td>帯広市副市長</td> <td>代表理事(非常勤)</td> </tr> <tr> <td>社員</td> <td>帯広市職員</td> <td>常務理事(常勤)</td> </tr> <tr> <td>社員</td> <td>地方競馬全国協会職員</td> <td>常務理事(常勤)</td> </tr> <tr> <td>社員</td> <td>地方競馬全国協会職員</td> <td>理事(非常勤)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有識者</td> <td>理事(常勤)</td> </tr> </table>				社員	帯広市副市長	代表理事(非常勤)	社員	帯広市職員	常務理事(常勤)	社員	地方競馬全国協会職員	常務理事(常勤)	社員	地方競馬全国協会職員	理事(非常勤)		有識者	理事(常勤)	監事(1人) <table border="1"> <tr> <td>監事</td> <td>有識者</td> </tr> </table>		監事	有識者																																																		
社員	帯広市副市長	代表理事(非常勤)																																																																																					
社員	帯広市職員	常務理事(常勤)																																																																																					
社員	地方競馬全国協会職員	常務理事(常勤)																																																																																					
社員	地方競馬全国協会職員	理事(非常勤)																																																																																					
	有識者	理事(常勤)																																																																																					
監事	有識者																																																																																						
目的	ばんえい競馬の実施に関する事務を行い、ばんえい競馬の円滑な運営と重種馬の振興に寄与すること。													事業費	一社の運営経費については、現在競走実施事務に要している委託料や人件費に、一社の総務部門に要する人件費等の経費を加え、さらに設立当初のみ必要となる現在の受託事業者からの財産取得費用を加えた規模になるものと見込む。																																																																								
業務内容	ばんえい競馬の競走実施事務全般を担う。また、その他の事務のうち、投票業務、整理・取締役業務及び日常的な施設管理・修繕業務を行う。														<競走実施事務、投票業務、整理・取締役業務、施設管理業務関連経費> <table border="1"> <tr> <th>令和5年度決算ベース</th> <th>令和7年度 新体制(検討中)</th> </tr> <tr> <td>委託料 564,212 千円</td> <td>委託料</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員人件費 31,407 千円</td> <td>総務部門経費</td> </tr> <tr> <td></td> <td>財産取得費用 ※設立当初のみ</td> </tr> </table>						令和5年度決算ベース	令和7年度 新体制(検討中)	委託料 564,212 千円	委託料	会計年度任用職員人件費 31,407 千円	総務部門経費		財産取得費用 ※設立当初のみ																																																											
令和5年度決算ベース	令和7年度 新体制(検討中)																																																																																						
委託料 564,212 千円	委託料																																																																																						
会計年度任用職員人件費 31,407 千円	総務部門経費																																																																																						
	財産取得費用 ※設立当初のみ																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">行政事務</th> <th colspan="15">競馬の実施に関する事務</th> </tr> <tr> <th>根幹事務</th> <th colspan="10">競走実施事務</th> <th colspan="4">その他の事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算・決算 議会対応 経理 基金管理</td> <td>開催日時、 入場料及び 払戻金の額 等の決定</td> <td>番組 編成</td> <td>馬場 管理</td> <td>決勝 判定</td> <td>裁 決</td> <td>発 走</td> <td>検 量</td> <td>獣 医</td> <td>投 票</td> <td>施設 管理</td> <td>整理 取締</td> <td>入場 受付</td> <td>広報 業務</td> <td>警 備</td> <td>直営 場外</td> <td>映 像</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td colspan="10">一社</td> <td>市</td> <td colspan="4">民間</td> </tr> </tbody> </table>													行政事務	競馬の実施に関する事務															根幹事務	競走実施事務										その他の事務				予算・決算 議会対応 経理 基金管理	開催日時、 入場料及び 払戻金の額 等の決定	番組 編成	馬場 管理	決勝 判定	裁 決	発 走	検 量	獣 医	投 票	施設 管理	整理 取締	入場 受付	広報 業務	警 備	直営 場外	映 像	市	一社										市	民間				出資 ばんえい競馬の安定運営体制を確立するために、主催者の責任として、市が一社に対して出資を行う。 <table border="1"> <tr> <td>出資額</td> <td>検討中</td> </tr> <tr> <td>出資者</td> <td>帯広市のみ(出資比率:100%)</td> </tr> </table>						出資額	検討中	出資者	帯広市のみ(出資比率:100%)
行政事務	競馬の実施に関する事務																																																																																						
	根幹事務	競走実施事務										その他の事務																																																																											
予算・決算 議会対応 経理 基金管理	開催日時、 入場料及び 払戻金の額 等の決定	番組 編成	馬場 管理	決勝 判定	裁 決	発 走	検 量	獣 医	投 票	施設 管理	整理 取締	入場 受付	広報 業務	警 備	直営 場外	映 像																																																																							
市	一社										市	民間																																																																											
出資額	検討中																																																																																						
出資者	帯広市のみ(出資比率:100%)																																																																																						
組織	<pre> graph TD RD[代表理事] --> CL[常勤理事] RD --> FL[非常勤理事] CL --> CL1[常務理事] CL --> CL2[常務理事] CL --> CL3[理事] CL1 --> GA[総務課] CL1 --> RL[競走関連課] CL1 --> PE[番組企画課] CL1 --> V[投票課] </pre>																																																																																						
職員	<table border="1"> <tr> <td>正職員(契約職員含む)</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>パート職員</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80人</td> </tr> </table> 加えて、一社の安定的な運営体制を構築するため、一定数の市職員を一社に派遣する。													正職員(契約職員含む)	42人	パート職員	38人	計	80人																																																																				
正職員(契約職員含む)	42人																																																																																						
パート職員	38人																																																																																						
計	80人																																																																																						

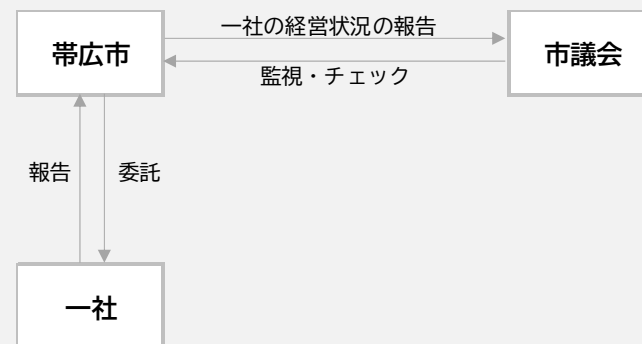
【課題解決】

課題	現状	新体制
① 専門性の継承	競馬の開催に直接関わる市職員が人事異動により概ね2～3年で入れ替わる中、一般的な行政事務と異なる競馬特有の事務を担うノウハウの継承が難しい。	一社職員が長期的に競走実施事務に携わることで、専門性が蓄積されていく。
② 人員の充足	十分な人員を充てておらず、一人の市職員が競走実施事務の複数の部門を兼務せざるを得ない状況にある。また、会計年度任用職員が確保しづらい状況にある。	競走実施事務の全ての部門に専任の一社職員を配置することで、兼務体制が解消され、各部門のマンパワーが充足される。

【経営の透明性】

一社は、市の出資比率が4分の1以上の法人となるため、地方自治法に基づき、市は一社の経営状況を毎年度議会に報告する義務が課されます。

市議会を通じて、一社の経営状況が明らかになることで、一社の経営の透明性が図られます。



【関係者との意見交換】

競馬関係者の意見を競馬運営の参考とするため、馬主や調教師、騎手などの競馬関係者、地全協、市、市民等及び一社が定期的に意見交換を行う場を設けます。

【今後のスケジュール】

令和6年12月	市議会（出資金に関する補正予算）
令和7年1月以降	一社設立
令和7年3月	競馬実施事務を行う一社としての農林水産大臣の承認
令和7年4月	新体制による運営開始